

農業農村整備事業事後評価結果

事業名	かんがい排水事業	対象地区数	3地区
<p>[評価結果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本事業の実施による農業用水の安定供給や排水条件の改善により、高収益作物の導入が図られているとともに、老朽化した施設の整備により、維持管理費の節減が図られている。 ○ 生態系に配慮した水路整備が行われたことにより、周辺住民に対する環境学習の場を提供し、農業が有する多面的機能への理解促進につながっている。 			
<p>[今後の改善方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 整備された施設について、計画的な更新・補修等を行うことにより、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減に向けた保全管理が必要である。 <p>(なお、本事業は平成30年度時点では、「水利施設等保全高度化事業」として実施している。)</p>			
事業名	経営体育成基盤整備事業	対象地区数	5地区
<p>[評価結果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本事業の実施によりほ場が大区画化されたこと等により、農作業の効率化が図られ、生産性の向上につながっている。また、担い手への農地集積も促進されている。 ○ 事業を契機として法人の設立や認定農業者の増加が図られ、担い手の育成に寄与している。 			
<p>[今後の改善方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地下水位制御システムの更なる活用を通じて、高収益作物の導入を進め、農業所得の更なる向上を目指す必要がある。 ○ ICTを活用した自動給水栓の整備など、スマート農業の推進により労働負荷の軽減や省力化を進め、魅力ある農業の実現を図るとともに、人材の育成・確保を進める必要がある。 <p>(なお、本事業は平成30年度時点では、「農業競争力強化農地整備事業」として実施している。)</p>			

事業名	畑地帯総合整備事業	対象地区数	3地区
<p>[評価結果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本事業の実施による安定的な用水供給により、定植や防除の適期作業が可能となり、野菜類の作付面積や単収が増加するなど、農業生産性の向上が図られている。 ○ 生産された高収益作物を活用した加工販売や輸出の取組が進められており、地域の活性化に寄与している。 			
<p>[今後の改善方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 近年、集中豪雨・干ばつが多発するなど気象条件の変化が生じており、暗渠排水や畑地かんがい施設の維持管理を適切に行い、生産性の維持、安定的な農業経営の確立を図る必要がある。 <p>(なお、本事業は平成30年度時点では、「水利施設等保全高度化事業」として実施している。)</p>			
事業名	草地畜産基盤整備事業	対象地区数	2地区
<p>[評価結果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本事業の実施により、飼料生産基盤の整備がされたことで、効率的な飼料生産が可能となり、事業参加農家の飼料作物の作付面積や生産量が大幅に増加し、飼料自給率が向上するとともに、牛1頭当たりの乳量が増加するなど、生産性の向上や経営の安定に寄与している。 			
<p>[今後の改善方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ より一層の飼料生産体制の強化に向けて、農地の面的集積や大区画化を通じて、自給飼料生産の更なる効率化・低コスト化を進めていく必要がある。 <p>(なお、本事業は平成30年度時点では、「農業競争力強化農地整備事業」として実施している。)</p>			